

くすりのしおり

外用剤

2024年05月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：パラマイシン軟膏

主成分：バシトラシン (Bacitracin)
フラジオマイシン硫酸塩 (Fradimycin sulfate)

剤形：白色～微黄色の軟膏剤

シート記載など：チューブの記載は、パラマイシン軟膏、10g、HM280
瓶のラベルの記載は、パラマイシン軟膏、250g



この薬の作用と効果について

細菌の細胞壁の合成や蛋白質の合成を阻害することにより、細菌などの増殖を防ぐ抗菌作用を示します。通常、皮膚感染症、膿皮症、外傷・熱傷（やけど）および手術創などの二次感染、びらん（ただれ）・潰瘍の二次感染、腋臭症（わきが）の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1日1～数回直接患部に塗るか、無菌ガーゼなどにのぼして貼ってください。年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された使用方法に従ってください。
- ・薬剤耐性菌の発現などを防ぐため、治療上必要最小限の期間のみ使用されます。
- ・使い忘れた場合は、気がついた時に患部に塗るか、無菌ガーゼなどにのぼして貼ってください。ただし、次に塗る時間が近い場合は塗らないで置き、次に塗る時間から塗ってください。2回分を一度に塗ってはいけません。
- ・誤って多く使用した場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、使用を止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、発赤、腫脹（腫れ）などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・尿量減少・むくみ、全身倦怠感、耳が聞こえにくい [腎障害、難聴]
- ・血圧低下、冷汗、呼吸困難 [ショック、アナフィラキシー]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、湿気を避けて室温（1-30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は、受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。